

みらいくの環境配慮への取組みについて

全ての子どもの健やかな成長を切れ目なく支援する子ども・家庭・地域の子育て機能の総合拠点となる子ども包括支援センター「みらいく」に、環境配慮の一環として太陽光発電システム及び蓄電池を導入しました。

1. 導入した設備の概要

太陽光発電システム及び蓄電池の仕様等		
	太陽光発電モジュール	蓄電池
仕様	単結晶シリコン太陽電池	リチウムイオン蓄電池 屋外自立型
出力	410.0W/枚	5.6kWh/台
容量	11.02kW (計 27 枚設置)	11.2kWh (計 2 台設置)
備考	自家消費用 (電気使用量や CO2 排出量の削減)	停電時使用可能

2. 導入目的

太陽光発電設備で発生した電力を「みらいく」の照明電力の一部として使用することで、日常の省電力化を行います。また、「みらいく」は福祉避難所としての役割も持つことから、太陽光発電により発生した電力を、災害時に必要となるインフラ設備の供給に役立てます。

3. 太陽光発電システムを設置することで

「みらいく」には、市の子ども施策を担当する各課の事務所のほかに、乳幼児親子のための子育てひろば、中高生支援を目的としたスペース等を設置しています。様々な年代の市民の方が来館する施設となる「みらいく」では、太陽光発電システムの導入による環境配慮への取組みをフロア1階に設置したモニターで随時紹介しています。子どもたちを始め来館する大勢の方々に、自然エネルギーに関心をもっていただくきっかけとなり、子どもたちの環境教育に活かすことができると考えています。また「みらいく」は、妊娠・出産・子育ての伴走支援を担う施設です。こうした施設に太陽光発電システムを設置し災害時の電力一定確保を可能とすることで福祉避難所としての機能を高め、滞在する妊産婦や乳幼児の心身の負担軽減に繋げていきます。

4. その他、省エネルギー対策の取組について

「みらいく」全館に LED 照明を導入することで、消費電力及びランニングコストの低減、環境への配慮を実現しています。また、Low-E ガラスの導入により、熱負担を低減し「みらいく」内の温度変化を抑え、空調の運転エネルギーの省力化に繋げています。また、「みらいく」のフロアの一部には「多摩産材」を使用し、地産地消を実践しています。